

祝 浪江町合併60周年記念式典



2016 (平成28) 年4月1日～2017 (平成29) 年3月31日

復旧実現期の最終ステージ。 課題をクリアしながら、漸進

浪江町合併60周年記念式典

インフラ・生活環境整備・放射線対策などが進む

■ 避難指示解除に向けて

震災から5年。春の恒例行事「大堀相馬焼の大せとまつり」「新町通りの種苗市」「室原地区の山菜市」などを開催することもできず、賑わいから遠い春となりましたが、請戸川リバーラインのソメイヨシノは、町の復興を祝福するかのように美しい姿を見せてくれました。

2016 (平成28) 年度は、浪江町合併60周年となる節目の年にあたり、町では復興のさらなる加速を実現する予算を編成しました。自主財源の確保が難しい中、

「原子力災害避難区域等帰還再生加速事業委託金」「福島再生加速化交付金」「避難地域復興拠点推進交付金」などの復興財源を活用し、各種施策を展開しました。

町では、2017(平成29)年3月の避難指示解除を目指し、「避難指示解除に関する有識者検証委員会」の最終回となる第6回において、「平成29年3月までに最優先に取組むべき16の課題」を掲げました。

平成29年3月までに最優先に取組むべき16の課題

【除染】

1. 居住エリアの除染の実施
2. 追加的な除染等の実施
3. 長期目標1ミリシーベルトに向けた継続的取組み
4. 帰還困難区域の除染計画の策定
5. 廃棄物の減容化の検討

【インフラ復旧】

6. 上水道の確実な復旧
7. 下水道の確実な復旧
8. J R常磐線の全線復旧に向けた継続的取組み

【生活環境整備】

9. 医療施設および医療従事者の確保
10. 介護サービスの段階的環境整備
11. 買い物ができる環境の整備
12. 事業者再開支援
13. 郵便再開
14. 原子力災害に対応した安全確保体制の整備

【放射線対策】

15. モニタリング体制整備
16. 放射線相談窓口の設置



■ 住民懇談会に 延べ1,200人を超える町民が参加

2016（平成28）年4月1日より、町内の居住制限区域と避難指示解除準備区域に設置した有人ゲートおよびバリケードの撤去が行われ、5月までに全ての撤去が完了しました。これらの動きと合わせて、町民の財産を守るために、防犯カメラの追加設置やパトロール強化などが行われ、4月18日には、警察、消防、除染事業者などの関係機関、町が主体となる見守り隊や消防団、警備会社や行政区長会を構成員とする「浪江町防犯・防火対策連絡協議会」を開催しました。

こうした中、避難指示解除に向けた住民懇談会を6月23日～7月23日まで、県内外で全8回開催し、延べ1,200人を超える町民が参加しました。有識者による検証結果の概要説明をはじめ、放射線や避難指示解除に関する意見交換の場となりました。

この年の8月30日は、震災から2,000日目。その翌々日となる9月1日から9月26日まで避難指示解除前の特例宿泊※が開始されました。

この特例宿泊での申込者は170世帯393人、そのうち実際に宿泊した人は131世帯269人でした。また、帰還支援一時宿泊所として9月1日にオープンした「ホテルなみえ」には、77人が宿泊しました。また、同年11月1日から開始した「準備宿泊」は12月1日時点で申し込み者201世帯510人、そのうち実際に宿泊した人は148世帯356人でした。

※特例宿泊：避難指示解除準備区域および居住制限区域において、本来認められていない住民の宿泊を、年末年始、お盆、お彼岸などの短期間に限り認める制度。



住民懇談会の様子

2016（平成28）年

【4月】

- ・ 帰還困難区域を除く有人ゲートおよびバリケードの撤去
- ・ 町内パトロール出動式



【5月】

- ・ 浪江町交流館（福島・郡山・いわき）にコミュニティ支援員を配置

【6月】

- ・ 除染検証委員会の開催、町内の除染の効果について検証を開始



- ・ 浪江診療所の安全祈願祭（浪江町役場本庁舎隣）

【6月～7月】

- ・ 県内外8カ所で住民懇談会を開催



【7月】

- ・ あぶくま信用金庫浪江支店がリニューアルオープン、町内で震災後初の金融機関の営業再開

【9月】

- ・ 初めての特例宿泊を実施
- ・ 平成28年度浪江町住民意向調査を実施
- ・ 「道の駅」設置に関する協定を締結
- ・ 浪江町福島再生賃貸住宅（町営住宅）が着工

■復興のシンボル 「まち・なみ・まるしえ」オープン

2016（平成28）年10月27日には、浪江町仮設商業共同店舗施設「まち・なみ・まるしえ」が町役場隣接地にオープンしました。オープニング記念式典の式辞で馬場町長は「1日も早く町の復興を成し遂げられるよう復興のシンボルとなってほしい」と述べ、町の復興に期待を込めました。

オープン当時の入居者は次の10店舗です。せんたくじゃぶじゃぶ hope one group（クリーニング、コインランドリー）、海鮮和食処くろさか（海鮮丼、寿司など）、リラクア（飲料、日用雑貨など）、浪江焼麺太国アンテナショップ（なみえ焼そば、各地のB-1認定商品など）、ウォッシュキャンプ浪江（コインランドリー）、カフェ コスモス（喫茶店）、キッチン・グランマ（日替わり定食、弁当）、ミッセなみえ（浪江町商工会）（浪江のお土産品、季節商品など）、渡辺政雄家具店ホームセンター部（金物、ホームセンター）、ローソンS 浪江町まち・なみ・まるしえ店（生鮮食品、弁当など）



「まち・なみ・まるしえ」オープニング記念式典

■生活基盤の充実に向けた整備、着々と

2016（平成28）年12月時点での町の復旧状況は、帰還困難区域を除き、破損した上下水道や主要道路等のインフラ復旧事業および農地・宅地の除染が約8割完了。生活基盤の整備にあたっては仮設商業施設がオープン、医療機関の診療所建設の見通しが立ち、請戸漁港は漁船が帰港できる状態まで改修されました。農業再生に向けた作物実証栽培は品目を増やし、農地を保全管理する農事復興組合も行政区ごとに設立されました。

この年、町内への帰還にあたり住宅に困窮されている方などを対象とした公営住宅の整備が進み、幾世橋地区に木造平屋建て85戸、5階建て集合住宅2棟80戸の整備が進みました。

■大平山霊園に慰霊碑を建立

2017（平成29）年3月31日に、東日本大震災追悼式（権現堂・浪江町地域スポーツセンター）を開催。同日、浪江町東日本大震災慰霊碑（大平山霊園地内）の序幕式を行いました。慰霊碑に刻字された碑文は次の通りです。

平成二十三（西暦二〇一一）年三月十一日午後二時四十六分、福島・宮城・岩手を中心に最大震度七の地震が発生した。この地震により家屋は倒壊し、道路は寸断された。その約四十分後に浪江町沿岸に津波の第一波が到達した。第二波が襲来した後、さらに高さ十五mを超す大津波が町を襲った。住民にはこれまで大津波被災の記憶はなく、避難が遅れ大津波に驚愕し、請戸・中浜・両竹・南棚塩の集落は全てのみ込まれた。

翌十二日には東京電力福島第一原子力発電所の事故により、国から避難指示が発令されたため、住民は避難を余儀なくされ、捜索や救命を断念せざるをえなかった。この地震と津波により、住民百八十二名の尊い命が失われた。私達は、災害は再び必ずやってくることを忘れてはならない。

ここは太古の昔から人が住み、青い海と白い砂浜を眺望できる所である。この地に、犠牲者の御霊を慰めるとともに、先人が愛した豊穡の大地と海を慈しみ、浪江町の復興を願い、この碑を建立する。

平成二十九年三月十一日 建立者 浪江町



TOPICS

熊本地震の被災者に支援物資を

2016（平成28）年4月14日に発生した熊本地震は、気象庁の震度階級で最も大きい震度7を観測。熊本県で合計50人が死亡（直接死）、避難者は最多で18万人以上に上りました。この事態を受けて浪江町では、被災した熊本に向けて4月21日・22日、および5月30日にタオルケット、マスク、紙おむつなどの支援物資を搬送しました。この他、二本松市内応急仮設住宅自治会連絡会など多くの自治会からも義援金をはじめ多くの支援物資が送られました。



2016（平成28）年

【10月】

- ・浪江町地域スポーツセンターオープニングセレモニー、浪江町合併60周年記念式典を開催
- ・町内で防災訓練を実施
- ・役場本庁舎隣に仮設商業共同店舗施設「まち・なみ・まるしえ」オープン

【11月】

- ・準備宿泊を開始、町営住宅の入居者の募集を開始

【12月】

- ・「浪江東中学校の改修工事」「浪江認定こども園の新築工事」の安全祈願祭
- ・浪江町除染検証委員会が報告書を町へ提出

【12月～1月】

- ・浪江町復興計画【第二次】（中間とりまとめ）への意見募集（パブリックコメント）

2017（平成29）年

【1月】

- ・浪江診療所が竣工



【1月～2月】

- ・県内外10カ所で住民説明会を開催

【3月】

- ・浪江町地域防災計画の改定
- ・浪江町東日本大震災追悼式を町内で開催（浪江町地域スポーツセンター）
- ・なみえ3.11復興のつどいを開催（二本松市 安達文化ホール）
- ・浪江町復興計画【第二次】を策定、浪江町中心市街地再生計画を策定
- ・浪江町内に浪江診療所開所、二本松市の復興公営住宅敷地内に仮設津島診療所開所
- ・避難指示解除準備区域および居住制限区域の避難指示が解除（東日本大震災から2,213日）



浪江町東日本大震災慰霊碑

TOPICS

浪江町合併60周年記念式典、盛大に開催

2016（平成28）年10月9日、浪江町地域スポーツセンターの落成式を兼ねて、浪江町合併60周年記念式典を開催しました。式典には約250人の来賓等が出席し、合併50周年からの10年間における町政発展の功労者13人、震災当初から町および町民に対し多大なご支援をいただいた自治体の代表者8人、個人2人に対して、感謝状と記念品を贈呈しました。



浪江町合併60周年記念式典の様子